

四方拜といふ事は、元正寅の時に、すべらぎ屬星を唱へ、天地、四方、山陵を拜し給て、年災をも拂ひ、寶祚をも祈申さる、儀にて侍にや、略○中むかしは殿上の侍臣なども四方拜をばまけるにや、近頃は内裏、仙洞攝關大臣家などの外は、さることなき也、略○中屬星を拜して災難をのぞく趣は、天地瑞祥志といふ書にみえたり、

〔江次第抄正月〕四方拜 拜屬星之由載于天地瑞祥志曰、凡人有危難病苦之日、取人所屬星五穀等、各食二七枚以井花水、日未出之時、向東再拜、一切難苦皆消滅、及口舌懸官皆解消也、

〔年中行事歌合〕一番 左持 四方拜

女房

すべらぎの星をとふる雲の上に光のどけき春は來にけり略○中

四方拜と云事は、略○中頌文などおほく侍れども、それまでは不及注、今星を唱ると詠は、當年の星本命星を先七返づ、となへ給事にやとぞおぼゆる、

四方拜式

〔内裏儀式〕正月拜天地四方屬星及二陵式第一

鶏鳴掃司設御座三所、一所此拜屬星之座、座前燒香置花燃燈、一所此拜天地之座、座前置花燒香、上二座鋪短疊拜、上一所此拜陵之座、鋪天皇端笏北向、稱所屬之星名字、會當年屬星名祿存字祿、會此北斗第三之星也、再拜祝曰、

賊寇之中、過度我身、毒魔之中、過度我身、危厄之中、過度我身、○危以下八本補、毒氣之中、過度我身、五兵口舌之中、過度我身、五危六害之中、過度我身、百病除愈、所欲從心、急急如律令、次北向再拜天、次西北向再拜地、以次拜四方、次端笏遙向二陵、兩段再拜、訖掃司徹御座、書司徹香花、

〔延喜式三十八〕元日平旦、設奉拜天地四方御座、前庭鋪長筵、立御屏風、三所敷半帖、

〔西宮記正月上〕四方拜藏人行事、下雨時、追讎後主殿寮供御湯、鶏鳴掃部寮敷御座於清涼殿東庭、立

御屏風四帖、設御座三所、北面一所拜屬星、一所拜天、

圖書寮紛失後用土器類也、藏人奉御笏候式略○中次第如式、北向稱屬星名再拜、次呪、次北向